

第13回 JCHO宇和島病院地域協議会 議事概要

【日時】令和3年8月10日（火）18:30～19:25

【場所】JCHO宇和島病院 3階講堂西

- 【議題】
1. 経営状況および第2期中期計画の進捗状況について
 2. 研修医等の受入状況について
 3. 発表『回復期リハビリテーション病棟における転倒防止対策』
 4. 意見交換
 5. その他

【出席者】奥田 喜久美（利用者）

梶原 伸介（市立宇和島病院長）

荃田 仁志（くきた内科クリニック院長）

谷 忠夫（利用者）

富田 直明（宇和島保健所長）

増田 潤（宇和島医師会長）

毛利 正光（宇和島市保険健康課長）

（以上：五十音順）

渡部 昌平（JCHO宇和島病院院長）

矢野 達哉（JCHO宇和島病院副院長・附属老健施設長）

佐々木 修（JCHO宇和島病院副院長）

富永 康浩（JCHO宇和島病院副院長）

浅野 実香（JCHO宇和島病院看護部長）

斧 信之（JCHO宇和島病院事務長）

中村 由佳（JCHO宇和島病院東2階病棟 看護師（発表者））

【概要】

1. 経営状況および第2期中期計画の進捗状況について

経営状況（収支、病院の1日平均患者数・患者1人1日当たり診療収入、附属老健の1日平均入所者数・通所者数）、第2期中期計画（数値目標）について報告を行った。

意見

特になし

2. 研修医等の受入状況について

研修医等の受入について、令和2年度受入実績、令和3年度受入予定の説明を行った。

意見

(内部委員) 研修医の受け入れについて、当院は協力型でもないため、研修医はすべて地域医療研修で、期間は1ヶ月から長くて3ヶ月です。

研修医以外にも愛媛大学医学部6年生の臨床実習を受け入れています。7月に6名の実習生を受け入れました。今後とも研修を充実させ、研修受入れを活性化させていきたいと思えます。

3. 発表 トイレ介助者に対する「セーフティケアカード」の作成

回復期リハビリテーション病棟における排泄に関連した転倒の発生を減らすための対策として、セーフティケアカードの作成・運用等についての発表を行った。

意見

(外部委員) セーフティケアカードを使用する職員の認識が一致できなかったのはどうしてですか。職種の違いですか。

(内部委員) 事例は異動してきた看護師です。マニュアル等を配付して周知していましたが、異動してきた看護師の認識不足、理解不足まで確認できていなかったのが今回の反省点です。異動してきた職員もきちんと理解できるような周知、方法を今後作成していくことが大事だということが今回の事例で分かった点であります。

(内部委員) 転倒の数は減ったが、転倒して受傷し、一番問題なのは骨折であるが、骨折の事例も減少しましたか。

(内部委員) トイレ内の転倒に関しては、昨年度1件骨折事例はありましたが、その後は転倒して骨折という事例はなく、2021年度もありません。

(外部委員) 入院日数が病名によって違ったのは、全国的にも同じようなものなのですか。

(内部委員) 当病棟は高齢者が多く、脳血管疾患の場合、長く入院される方が多いです。寝たきりから歩行できるまでの日数が掛かったりして、入院が長くなる事例も多くあります。全国平均と比べるまではできていません。

(内部委員) 回復期リハビリテーション病棟は、病名により入院できる期間が診

療報酬で決まっています。その辺りも少し影響しているのかもしれませんが。

4. 意見交換

(外部委員) 進行癌が多い。健診を受けていないケースが多くある。健康管理の意識を上げてもらいたい。何とか健診で早く見つけて手術や内視鏡的治療で治せるよう、何とかならないかと思っています。健康管理について一般の人に考えてほしいと思います。

(内部委員) 新型コロナの影響で一時期、健診業務をストップしていましたが、再開後は頑張って健診を実施しています。二次検査の追跡ができていませんでしたが、少なくとも便潜血検査に関しては、追跡として大腸カメラを実施した医療機関から結果を返送してもらうようにしています。

(外部委員) 健診を受けている人は毎年受けているが、健診を受けていない人が多い。健診を受けていない人を何とかしてほしい。

(外部委員) 宇和島市の報告では、がん検診、特定健診の受診率が下がっていた。

(外部委員) 自分は癌とか病気とは関係ないと思っている人がほとんどで、症状が出てきてからでは遅い。無症状の時にピックアップできる体制を何とかしてほしい。JCHOだけでなく、市としても頑張ってほしいと思います。

(外部委員) 先生方のご指摘もあったように、当市においても特定健診、がん検診の報告ということで、ハガキも人によって見せ方を変えたり、予約もwebで簡単にできるようになどさせていただいていますが、まだまだ、目標に及ばないところがありますので、今後も意見をお聞かせいただきながら頑張っていきたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

(外部委員) 大腸検査は何年ごとに受ければ良いですか。

(外部委員) 便潜血検査は毎年受けてください。便潜血検査が陽性だったら大腸カメラを受けてください。胃カメラは2年に1回受けてほしいです。大腸がんは増えています。胃がんの倍以上あります。

(外部委員) JCHOではPCR検査はできますか。

(内部委員) 最近導入しました。

(外部委員) 結果は数時間で出ますか。

(内部委員) 1時間弱で出ます。普通の検査機器であれば、何検体かを一度に

検査し、それが終わるまでは次の検体をセットアップできないですが、今回導入の機器は随時セットできるため、待たずに検査できます。

(外部委員) 新型コロナワクチン接種について、5月23日から個別接種に院長先生始め先生方ご支援いただきありがとうございます。また6月19日から7月25日にかけて12回総合体育館での集団接種に関してもご支援いただきましてありがとうございます。集団接種での接種人数について、65歳以上の高齢者の方及び基礎疾患の方が4,600人の2回、高齢者施設の入所者の方が600人の2回、警察官・学校・保育園等のエッセンシャルワーカーの方が1,500人の2回で計6,700の方が集団接種において接種できたことは宇和島市にとっても意義があることでした。

愛媛県全体での1回目の接種率は45.4%、2回目の接種率が37.0%です。その様な中、当市におきましては、68,680人のうち1回目接種された方が36,039人で52.5%、2回目接種が30,125人で43.9%と県内の市の中でも4番目に接種率が高い状況になっています。

現在、45歳から49歳の予約を8月3日から開始しました。今後のワクチンの見込みが立ちまして、月に12,000回分位は接種できる見込みとなりました。今後速やかに年齢を引き下げて接種できる体制を作っていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

(内部委員) 当院ではワクチンを無駄にしないよう気を遣って対応し、現在までワクチンロスはありません。

(外部委員) 先生方のご協力のお陰で、当市においてはワクチンロスゼロの状態を維持できています。今後とも頑張っていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

(内部委員) 積極的なワクチン接種を進めていきたいと思っております。

5. その他 特になし